

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年7月29日

団体名 パステル和(なごみ)アートの会代表者 成瀬友美構成員 8人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

がんをはじめとする緩和ケアが必要な疾病を抱える市民とその家族に対して、緩和ケアの一環であるヒーリングアートの認知度向上を目指す。併せて緩和ケアの現場でのヒーリングアートの普及・実践と、ヒーリングアートを実践できる人材育成をするとともに、公益性のある活動が緩和ケアの枠を超えてでも可能であるかどうかを常に模索し、向上心を持って実践することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数 ^{※1}	活動内容
4月12日	岡崎市民病院	がん患者	5名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
4月19日	友愛の家	障がい者とその 支援者	8名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
4月20日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
5月12日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
5月10日	岡崎市民病院	がん患者	3名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
5月14日	よりなん	活動に関心のある方	3名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
5月17日	友愛の家	障がい者とその 支援者	8名	ヒーリングアートを実践。認知度向上

6月9日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
6月14日	岡崎市民病院	がん患者	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
6月21日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
7月12日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
7月19日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
7月14日から20日	よりなん	関心のある方	一般公開のため人数不明	作品展を開催。活動をPR。
8月9日	岡崎市民病院	がん患者	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
8月16日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
8月17日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
8月20日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
9月1日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
9月13日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
9月20日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上

10月11日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
10月18日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
10月22日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
11月8日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
11月15日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
11月17日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
11月19日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
12月13日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
12月20日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
1月10日	岡崎市民病院	がん患者	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
1月17日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
1月18日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
2月9日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上

2月14日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
3月14日	岡崎市民病院	がん患者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
3月18日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
3月21日	友愛の家	障がい者とその支援者	6名	ヒーリングアートを実践。認知度向上
3月30日	よりなん	活動に関心のある方	4名	ヒーリングアートを実践。認知度向上

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

ヒーリングアートを味わっていただき、心の痛みを緩和することに寄与出来ていると思われます。作品展や、一般向けの教室を開くことでヒーリングアートの認知度向上をもたらすこともできた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 ① → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

目的通りの活動ができたと評価したため。